

セメント;コンクリート;人造石;セラ**ミックス;耐火物[4]**

注

このクラスは他の分類,例えば機械的加工B28,キルンF27に分類される機械的特徴は包含しない。

**石灰;マグネシア;スラグ;セメント;
その組成物,例.モルタル,コンクリート
または類似の建築材料;人造石;セラ
ミックス** (失透ガラスセラミックス
C03C10/00);**耐火物** (耐火性金属を基とする
合金 C22C);**天然石の処理[4]**

注

このサブクラスにおいて,下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる:[6]

— “充填材” は顔料,骨材および繊維強化材料を包含する。[6]

— “活性成分” は処理加工助剤または性質改良剤,例.焼成工程後に使用されるかまたは焼成工程なしで使用される粉砕助剤,を包含する。[6]

— “モルタル”, “コンクリート” および “人造石” は単一グループの材料として考えるべきであり,それゆえ,相反する指示がない限り,それらはモルタル,コンクリートおよびその他のセメント組成物を包含する。[6]

サブクラス内の索引

石灰,マグネシア;スラグ 2/00,5/00.....
セメント 7/00-12/00.....
モルタル;コンクリート;人造石.....
組成物 26/00-32/00.....
充てん材 14/00-20/00.....
活性成分 22/00,24/00.....
多孔質製品 38/00.....
モルタルの性質に影響を与えることまたはその変化 40/00
後処理 41/00.....
セラミック.....
粘土製品 33/00.....
その他のセラミック 35/00.....
接合 37/00.....
多孔質製品 38/00.....
後処理 41/00.....
天然石の処理 41/00.....

石灰,マグネシア;スラグ

2/00 石灰,マグネシアまたはドロマイト[4]
2/02 ・石灰[4]
2/04 ・・消化[4]
2/06 ・・・物質,例.疎水化剤,の添加によるもの
[4]
2/08 ・・・その装置[4]

2/10 ・予熱,焼成,か焼または冷却(セメント原料の焼成期間中の脱炭酸 C04B7/43) [4]
2/12 ・・直立炉または堅形炉におけるもの[4]
5/00 溶融スラグの処理(スラグウールの製造 C03B;金属の製造中または製造用のスラグの処理 C21B, C22B);溶融スラグからの人造石[4]
A 溶融スラグからの熱回収
B 冷却前の処理;冷却方法
C 冷却後の処理
Z その他のもの
5/02 ・造粒(造粒装置 B01J2/00);脱水;乾燥
A 水砕スラグの製造方法,処理方法(C04B5/02B 優先)
B ・スラリーからの水砕スラグの脱水または乾燥
Z その他のもの
5/06 ・溶融スラグに添加された水以外の成分;ガスまたはガス発生材料による処理,例.多孔質スラグを得るためのもの[4]

セメント

注

グループ C04B7/00-C04B32/00 においては,ラストプレイス優先ルールが適用される,すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り,最後の適切な箇所に分類する。[4]

7/00 水硬性セメント
7/02 ・ポルトランドセメント
7/04 ・・石こうを含む原料を使用するもの
7/06 ・・アルカリ原料を使用するもの
7/12 ・天然ボゾラン;天然ボゾランセメント[4]
7/13 ・・無機セメント質材料,例.ポルトランドセメント,との混合物[4]
7/14 ・スラグを含むセメント
7/147 ・・冶金スラグ[4]
7/153 ・・・他の無機セメント質材料または他の活性化剤との混合物[4]
7/17 ・・・・活性化剤を含有する酸化カルシウムとの[4]
7/19 ・・・・ポルトランドセメント[4]
7/21 ・・・・活性化剤を含有する硫酸カルシウムとの[4]
7/22 ・鉄鉱セメント
7/24 ・油頁岩,残留物またはスラグ以外の廃棄物から製造されたセメント[4]
7/26 ・・煙道ダストを含む原料からのもの
7/28 ・・燃料残留物からのもの(C04B7/26が優先)[4]
7/30 ・・油頁岩からのもの;油頁岩残留物からのもの[4]
7/32 ・アルミナセメント

C O 4 B

7/34 ・水硬性石灰セメント;ローマンセメント
 7/345 ・グループ C04B7/02-C04B7/34 の 1 つに属さない水硬性セメント[4]
 7/36 ・水硬性セメントの製造一般
 7/38 ・個々の, またはバッチとしての原料の調整または処理[4]
 7/40 ・脱水;成形, 例. 造粒(造粒装置B01J2/00)
 7/42 ・焼成工程の前またはその期間中に添加される活性成分
 7/43 ・熱処理, 例. 予備か焼, 焼成, 溶融;冷却[4]
 7/44 ・焼成;溶融[4]
 101 ・予熱;か焼
 102 ・仮焼用バーナを使用するもの
 7/45 ・流動床での[4]
 7/46 ・電氣的なもの[4]
 7/47 ・冷却[4]
 7/48 ・クリンカー処理 (C04B7/47 が優先) [4]
 7/51 ・水和[4]
 7/52 ・粉砕
 7/60 ・アルカリ金属またはその化合物の除去方法[4]
 9/00 マグネシウムセメントまたはそれに類似するセメント
 9/02 ・塩化物を含むマグネシウムセメント, 例. ソーレルセメント
 9/04 ・硫酸塩, 硝酸塩, りん酸塩またはふっ化物を含むマグネシウムセメント
 9/06 ・マグネシウム化合物以外の金属化合物, 例. 亜鉛または鉛化合物, を含有するセメント
 9/11 ・他の無機セメント質材料との混合物[4]
 9/12 ・水硬性セメント, 例. ポルトランドセメント, との[4]
 9/20 ・製造, 例. バッチの調整(石灰岩, マグネサイトまたはドロマイトの予熱, 焼成, か焼または冷却 C04B2/10)
 11/00 硫酸カルシウムセメント
 11/02 ・石こうの脱水
 11/024 ・か焼工程の前またはその期間中に添加される成分, 例. か焼変性剤[4]
 11/028 ・その装置[4]
 11/032 ・湿式法, 例. 溶液中でのまたは飽和蒸気条件下での脱水, のためのもの[4]
 11/036 ・乾式法, 例. 流動床またはロータリーキルン中での脱水, のためのもの[4]
 11/05 ・無水石こうの取得 (C04B11/028 が優先) [4]
 11/06 ・硬石こうを出発物質とするもの
 11/26 ・りん酸石こうまたは廃棄物, 例. 煙の浄化生成物, を出発物質とするもの (C04B11/02 が優先) [4]
 11/28 ・他の無機セメント質材料との混合物 (C04B7/04, C04B7/153 が優先) [4]

11/30 ・水硬性セメント, 例. ポルトランドセメント, との[4]
 12/00 グループ C04B7/00-C04B11/00 に属さないセメント[4]
 12/02 ・りん酸セメント[4]
 12/04 ・アルカリ金属またはけい酸アンモニウムセメント[4]

モルタル, コンクリート, または人造石のための充填材としての材料の使用

14/00 モルタル, コンクリートまたは人造石のための充填材, 例. 顔料, としての無機物の使用;モルタル, コンクリートまたは人造石に対する無機物の充填性を向上させるのに特に適合する処理 (建築材料用補強要素 E04C5/00) [4]
 14/02 ・粒状材料[4]
 A 着色材料
 B 軽量化したもの
 C 製造装置等
 Z その他
 14/04 ・けい素に富んだ材料;けい酸塩[4]
 A 軽量化したもの
 C 非晶質シリカ
 Z その他
 14/06 ・石英;砂[4]
 A 水による処理
 B 粉砕または研磨処理
 Z その他
 14/08 ・けいそう土[4]
 14/10 ・粘土[4]
 A 粘土の精製または変性
 B 複鎖構造型粘土
 Z その他
 14/12 ・膨張した粘土[4]
 14/14 ・火山起原の鉱物[4]
 14/16 ・多孔質のもの, 例. 軽石[4]
 14/18 ・パーライト[4]
 14/20 ・雲母;ひる石[4]
 A 雲母
 Z その他
 14/22 ・ガラス[4]
 14/24 ・多孔質のもの, 例. 発泡ガラス[4]
 14/26 ・炭酸塩[4]
 14/28 ・カルシウムの[4]
 14/30 ・シリカ以外の酸化物[4]
 14/32 ・炭化物;窒化物;ほう化物[4]
 14/34 ・金属[4]
 14/36 ・グループ C04B14/02-C04B14/34 に属さない無機物[4]
 14/38 ・繊維状材料;ウイスキー[4]

A	炭素繊維				リート,または人造石に対する塊成化物
B	石こう繊維				質もしくは廃棄物または屑の充填性を向
C	ケイ酸塩繊維				上させるのに特に適合する処理 (建築用
Z	その他				補強要素 E04C5/00) [2006. 01]
14/40	・ ・ 石綿[4]	18/02	・ 塊成化物質[4]		
14/42	・ ・ ガラス[4]	18/04	・ 廃棄物;屑[4]		
A	組成に特徴があるもの	18/06	・ ・ 燃焼残留物, 例. 煙, 煙霧または排ガスの		
B	形状に特徴があるもの		浄化生成物[4]		
C	・ チョップドストランド型のもの	18/08	・ ・ ・ 煙道ダスト[4]		
Z	その他	A	焼成するもの		
14/44	・ ・ ・ アルカリ耐性を増加させるための処	B	・ 原料に特徴があるもの		
	理[4]	Z	その他		
A	無機物によるもの	18/10	・ ・ ・ 焼成屑[4]		
B	有機物によるもの	A	石炭灰		
C	・ 樹脂によるもの	B	モミガラ;木粉炭化物		
D	無機物+有機物によるもの	Z	その他		
Z	その他	18/12	・ ・ 採石場, 鉱山または類似のものからのもの		
14/46	・ ・ 岩綿[4]		の[4]		
14/48	・ ・ 金属[4]	18/14	・ ・ 冶金学的工程からのもの (溶融スラグ		
A	材質に特徴があるもの		の処理 C04B5/00) [4]		
B	被覆処理したもの	A	高炉スラグ		
C	形状に特徴があるもの	B	・ 急冷スラグ		
D	・ 寸法を特定したもの	C	・ ・ 水砕スラグ		
Z	その他	D	・ 膨脹スラグ		
16/00	モルタル, コンクリートまたは人造石のため	E	・ ・ 乾式法によるもの		
	の充填材, 例. 顔料, としての有機物の	F	製鋼スラグ		
	使用;モルタル, コンクリートまたは人造	G	赤泥		
	石に対する有機物の充填性を向上させる	H	高炉ダスト類		
	のに特に適合する処理 (建築材料用補強	J	・ 加熱軽量化するもの		
	要素 E04C5/00) [4]	K	・ ・ ケイ酸アルカリを添加するもの		
16/02	・ セルロース質材料[4]	Z	その他		
A	セルロース質材料+無機繊維	18/16	・ ・ 建築またはセラミック工業からのもの		
Z	その他		[2023. 01]		
16/04	・ 高分子化合物 (C04B16/02 が優先) [4]	18/162	・ ・ ・ セメントキルンダスト;ライムキルン		
16/06	・ ・ 繊維状の[4]		ダスト[2023. 01]		
A	繊維の材質に特徴があるもの	18/165	・ ・ ・ セラミック廃棄物[2023. 01]		
B	・ ポリビニールアルコール系のもの	18/167	・ ・ ・ 再生材料, すなわち, 同じ材料の生産		
C	被覆処理をしたもの		に再利用される廃材料[2023. 01]		
D	繊維の形状に特徴があるもの	18/18	・ ・ 有機的なもの (C04B18/10 が優先) [4]		
E	・ 寸法を特定したもの	18/20	・ ・ ・ 高分子化合物からのもの[4]		
F	・ 表面が凸凹のもの (C04B16/06C 優先)	18/22	・ ・ ・ ・ ゴム[4]		
G	有機繊維+無機繊維	18/24	・ ・ ・ 植物屑, 例. もみがら, トウモロコシ屑;		
Z	その他		セルロース質材料, 例. 紙[4]		
16/08	・ ・ 多孔質の, 例. 発泡ポリスチレンビーズ	A	パルプスラッジ		
	[4]	Z	その他		
16/10	・ ・ ・ モルタルとの混合性を高めるための	18/26	・ ・ ・ ・ 木材, 例. 鋸屑, かなな屑[4]		
	処理[4]	18/28	・ ・ ・ ・ 鉱物化;そのための組成物[4]		
16/12	・ 形状によって特徴づけられたもの (繊維	18/30	・ ・ 混合廃棄物;組成不明の廃棄物, 例. 都市		
	状高分子化合物 C04B16/06;多孔質高分子		ごみ (C04B18/10 が優先) [4]		
	化合物 C04B16/08) [4]	20/00	モルタル, コンクリート, または人造石のため		
18/00	モルタル, コンクリート, または人造石のため		の充填材としての物質であって, グル		
	の充填材としての塊成化物質もしくは		ープ C04B14/00-C04B18/00 の 2 以上に属		
	廃棄物または屑の使用;モルタル, コンク		するとともに形状または粒度分布に特徴		

	のあるものの使用;モルタル,コンクリートまたは人造石に対するグループ C04B14/00-C04B18/00 の 2 以上に属する物質の充てん性を向上させるのに特に適合する処理;物質の膨張または解繊(建築材料用補強要素 E04C5/00) [4]
A	形状に特徴があるもの
B	粒度分布に特徴があるもの
Z	その他
20/02	・処理[4]
A	膨張処理;はく離処理
Z	その他
20/04	・・熱処理[4]
20/06	・・・膨張粘土,パーライト,ひる石または類似の粒状材料[4]
A	焼成炉または装置
Z	その他
20/08	・・石綿の解繊[4]
20/10	・被覆または含浸[4]
20/12	・・多層被覆または含浸[4]

活性成分としての材料の使用[4]

注

(1)セメント組成物に硬化前に添加され,新規または改良された鉱物相を反応形成する活性成分は,他のセメントへの添加剤として用いられるセメントと同様にグループ C04B7/00-C04B12/00 に分類される。[4]

注

(2)グループ C04B22/00-C04B24/00 において,グループ C04B103/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[6]

22/00	モルタル,コンクリートまたは人造石のための活性成分としての無機材料,例.硬化促進剤,の使用[4]
22/02	・元素[4]
22/04	・・金属,例.発泡剤として使用するアルミニウム[4]
22/06	・酸化物;水酸化物[4]
A	けい素を含有するもの
Z	その他のもの
22/08	・酸またはその塩[4]
A	けい酸塩
B	陰イオン中に窒素を含有するもの
Z	その他のもの
22/10	・・陰イオン中に炭素を含有するもの,例.炭酸塩[4]
22/12	・・陰イオン中にハロゲンを含有するもの,例.塩化カルシウム[4]
22/14	・・陰イオン中に硫黄を含有するもの,例.硫化物[4]
A	無機硫酸塩

B	・硫酸カルシウム
C	・・カルシウム [ハロ] アルミネートを含有するもの
D	・カルシウムサルホアルミネート
E	・・カルシウムサルホアルミネートの合成
Z	その他のもの
22/16	・・陰イオン中にリンを含有するもの,例.りん酸塩[4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/00	モルタル,コンクリートまたは人造石のための活性成分としての有機物,例.流動化剤,の使用[4]
24/02	・アルコール;フェノール;エーテル[4]
24/04	・カルボン酸;その塩,無水物またはエステル[4]
24/06	・・水酸基を含有するもの[4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/08	・脂肪;脂肪油;エステル型ろう;高級脂肪酸,すなわち 1 個のカルボキシル基に結合する中断しない鎖結合中に少なくとも 7 個の炭素原子を有するもの;酸化された油または脂肪[4]
24/10	・炭水化物またはその誘導体[4]
24/12	・窒素含有化合物[4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/14	・・ペプチド;蛋白質;これらの誘導体[4]
24/16	・いおう含有化合物[4]
24/18	・・リグニンスルホン酸またはその誘導体,例.亜硫酸法パルプ廃液[4]
A	他の活性成分を併用するもの
B	・他の有機活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/20	・・スルホン化された芳香族化合物[4]
24/22	・・・その縮合生成物[4]
A	他の活性成分を併用するもの
B	・他の有機活性成分を併用するもの
C	・・他の高分子活性成分を併用するもの
D	・・・リグニンスルホン酸またはその誘導体を併用するもの
E	・・・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られた高分子化合物を併用するもの
Z	その他のもの
24/24	・高分子化合物 (C04B24/14 が優先;スルホン酸塩または硫酸エステルを含む高分子化合物 C04B24/16) [4, 6]
A	他の活性成分を併用するもの
B	・他の有機活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/26	・・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する

	反応によって得られたもの[4]
A	ビニル系重合体
B	・ポリビニルアルコール
C	・酢酸ビニル系重合体
D	・アクリル系, メタクリル系重合体
E	・・アクリル酸系, メタクリル酸系重合体
F	・・アクリル酸エステル系, メタクリル酸エステル系重合体
G	・スチレン系重合体
H	不飽和脂肪族ジカルボン酸系重合体
Z	その他のもの
24/28	・・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの[4]
A	ポリエポキシド
Z	その他のもの
24/30	・・・アルデヒドまたはケトンの縮合物[4]
A	メラミンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物
B	・他の活性成分を併用するもの
C	・・他の有機活性成分を併用するもの
D	・・・他の高分子活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/32	・・・ポリエーテル, 例. アルキルフェノールポリグリコールエーテル[4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/34	・・天然樹脂, 例. 松脂[4]
24/36	・・瀝青物, 例. タール, ピッチ[4]
24/38	・・多糖類またはその誘導体[4]
A	セルロースまたはその誘導体
B	・他の活性成分を併用するもの
C	・・他の有機活性成分を併用するもの
D	・・・他の高分子活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/40	・けい素, チタンまたはジルコニウムを含有する化合物[4]
24/42	・・炭素—けい素間結合を 1 個以上有する化合物[4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの

モルタル, コンクリートまたは人造石のための組成物[4]

注

(1) ラストプレイスルールに従って C04B26/00-C04B32/00 に分類されるモルタル, コンクリートまたは人造石の組成物の構成成分であって, それ自体が新規かつ非自明であると判断されたものは, グループ C04B7/00-C04B24/00 の最後の適切な箇所に分類しなければならない。[4, 8]

注

(2) モルタル, コンクリートまたは人造石の組成物の構成成分であって, ラストプレイスルールに従った C04B26/00-C04B32/00 への分類からは特定されず, かつ, 検索に重要な情報であると思われるものは, グループ C04B7/00-C04B24/00 の最後の適切な箇所に分類することができる。これは, 例えば分類記号の組合せを用いて組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。このような非義務的分類は, “付加情報” として表示すべきである。例えば, 本質的なまたは特徴のある充填材としての粘土を含んだ, ポルトランドセメントモルタル混合物は, グループ C04B28/04 に分類し, グループ C04B14/10 にも付加的に分類することができる。[4, 8]

注

(3) グループ C04B26/00-C04B32/00 においては, グループ C04B111/00 のインデキシングコードを付加することが望ましい。[6]

26/00	有機結合剤のみを含有するモルタル, コンクリートまたは人造石の組成物[4]
26/02	・高分子化合物[4]
A	不燃化または難燃化したもの
B	着色または模様づけしたもの
C	製造方法
Z	その他
26/04	・・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られたもの[4]
A	ゴム
B	PVA; ポリ酢酸ビニル
C	ポリエチレン; ポリプロピレン
Z	その他
26/06	・・・アクリル酸エステル[4]
26/08	・・・ハロゲンを含有するもの[4]
26/10	・・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの[4]
26/12	・・・アルデヒドまたはケトンの縮合物[4]
26/14	・・・ポリエポキシド[4]
26/16	・・・ポリウレタン[4]
26/18	・・・ポリエステル; ポリカーボネート[4]
A	結合剤に特徴があるもの
B	添加物に特徴があるもの
C	・有機物系添加物
D	・無機物系添加物
Z	その他
26/20	・・・ポリアミド[4]
26/22	・・天然樹脂, 例. 松脂[4]
26/24	・・・セルロース廃液, 例. 亜硫酸法パルプ廃液[4]
26/26	・・瀝青物, 例. タール, ピッチ[4]
A	樹脂を含むもの
Z	その他
26/28	・・多糖類またはその誘導体[4]
26/30	・炭素—金属または炭素—けい素間結合を 1 個以上有する化合物[4]

C 0 4 B

26/32	・ ・ けい素を含有するもの[4]
28/00	無機結合剤を含有するかまたは無機結合剤と有機結合剤との反応生成物を含有するモルタル, コンクリートまたは人造石の組成物, 例. ポリカルボン酸セメント[4]
28/02	・ 硫酸カルシウム以外の水硬性セメントを含有するもの[4]
28/04	・ ・ ポルトランドセメント[4]
28/06	・ ・ アルミナセメント[4]
28/08	・ ・ スラグセメント[4]
28/10	・ ・ 石灰セメントまたは酸化マグネシウムセメント[4]
28/12	・ ・ ・ 水硬性石灰[4]
28/14	・ 硫酸カルシウムセメントを含有するもの[4]
28/16	・ ・ 無水石こうを含有するもの[4]
28/18	・ シリカー石灰型の混合物を含有するもの[4]
28/20	・ ・ 砂-石灰[4]
28/22	・ ・ 石灰およびボゾラン[4]
28/24	・ けい酸アルキルアンモニウムまたはアルカリ金属のけい酸塩を含有するもの; シリカゾルを含有するもの[4]
28/26	・ ・ アルカリ金属のけい酸塩[4]
28/28	・ 多価の有機酸を含有するもの, 例. ポリカルボン酸セメント[4]
28/30	・ マグネシウムセメントを含有するもの(酸化マグネシウムセメント C04B28/10) [4]
A	炭酸マグネシウムセメントを含有するもの
Z	その他のもの
28/32	・ ・ オキシ塩化マグネシウムセメント, 例. ソーレルセメント[4]
28/34	・ 冷間りん酸塩結合剤を含有するもの[4]
28/36	・ いおう, 硫化物またはセレンを含有するもの[4]
30/00	結合剤を含有しない人造石のための組成物(溶融スラグからの人造石 C04B5/00) [4]
A	バーミキュライト板
Z	その他
30/02	・ 繊維状材料を含有するもの[4]
32/00	このサブクラスの他のグループに属さない人造石 (溶融スラグからの人造石 C04B5/00) [4]
A	断熱材
B	防音材
Z	その他
32/02	・ 強化材を有するもの[4]
A	ガラス系強化材
B	炭素系強化材
C	金属系強化材
D	・ 防蝕
E	有機物系強化材
Z	その他

セラミックス

33/00	粘土製品 (モノリシックな耐火物または耐火モルタル C04B35/66; 多孔質製品 C04B38/00) [2]
33/02	・ 個々の, またはバッチとしての原料の調製または処理
33/04	・ ・ 粘土; カオリン
A	粘土鉱石の粉碎, 分級
B	粘土の造粒
Z	その他
33/06	・ ・ ・ 石灰の無害化
33/08	・ ・ ・ ・ 白華防止
33/10	・ ・ 鉄または石灰の除去
33/13	・ ・ 配合成分 (C04B33/36, C04B35/71 が優先) [2]
A	無機物, 例. 鉱石粉
B	・ ガラス粉
C	・ 金属粉
P	有機物, 例. 空隙形成用のもの
Z	その他
33/132	・ ・ ・ 廃棄物; ゴミ (C04B33/16 が優先) [8]
33/135	・ ・ ・ ・ 燃焼残渣, 例. フライアッシュ, 焼却ゴミ[8]
33/138	・ ・ ・ ・ 冶金的方法からの廃棄物, 例. 鉱滓, 炉塵, 亜鉛メッキからのもの[8]
33/14	・ ・ ・ 着色物質
33/16	・ ・ ・ 非可塑性物質, 例. 焼粉, 石英
33/18	・ ・ ・ バッチを液状化するためのもの
33/20	・ ・ 乾式プレスのためのもの (C04B33/13 が優先)
33/22	・ 焼粉製品
33/24	・ 磁器または白色陶磁器の製造
A	異形物品の製造
Z	その他
33/26	・ ・ 電気絶縁用磁器の
33/28	・ でいしょう 鑄込み成形
33/30	・ 乾燥方法
A	加熱
B	・ 熱風
C	・ 電気, 光エネルギー
K	乾燥炉
L	・ 連続式
U	乾燥用受具
Z	その他
33/32	・ 焼成方法
D	雰囲気組成
E	・ 還元雰囲気
F	・ ・ 燻し瓦の製造
K	焼成炉
L	・ 連続式

Q	炉内外の付属装置	35/05	・ ・ ・ ・ 溶融鑄造による耐火物[6]
R	・ 移送装置	100	・ ・ ・ ・ ・ 酸化クロムまたはクロム鉱石を含有するもの
S	・ 整列装置	35/053	・ ・ ・ ・ ファインセラミックス[6]
T	・ 焼成用具	35/057	・ ・ ・ 酸化カルシウムを基とするもの[6]
Z	その他	35/06	・ ・ ・ ドロマイトから誘導した混合酸化物を基とするもの
33/34	・ ・ 施釉と結合されたもの	35/08	・ ・ 酸化ベリリウムを基とするもの[6]
33/36	・ 強化粘土製品[2]	35/10	・ ・ 酸化アルミニウムを基とするもの[6]
35/00	組成に特徴を持つ成形セラミック製品; セラミック組成 (炭化物, ダイヤモンド, 酸化物, ほう化物, 窒化物, けい化物に結合しているか, または他の金属化合物, 例. 酸窒化物もしくは硫化物, と結合している巨視的な強化材としての使用以外の遊離金属を含有するセラミック組成物, 例. サーマット C22C) ; セラミック製品を製造するための無機化合物粉末の処理[4]	35/101	・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物[6]
		500	・ ・ ・ ・ C04B35/103-C04B35/106 に包含されるものの以外の耐火金属化合物を含有するもの
		35/103	・ ・ ・ ・ 非酸化物耐火物質, 例. 炭素を含有するもの (C04B35/106 が優先) [6]
		35/105	・ ・ ・ ・ 酸化クロムまたはクロム鉱石を含有するもの[6]
		35/106	・ ・ ・ ・ 酸化ジルコニウムまたはジルコン (ZrSiO ₄) を含有するもの[6]
		35/107	・ ・ ・ 溶融鑄造による耐火物[6]
		35/109	・ ・ ・ ・ 酸化ジルコニウムまたはジルコン (ZrSiO ₄) を含有するもの[6]
		35/111	・ ・ ・ ファインセラミックス[6]
		500	・ ・ ・ ・ 微小焼結体, 例. 焼結砥粒または小板状体のような成形された粒子 (研磨材 C09K3/14)
		35/113	・ ・ ・ ・ ベータ酸化アルミニウムを基とするもの[6]
		35/115	・ ・ ・ ・ 半透明または透明製品[6]
		35/117	・ ・ ・ ・ 複合組成物[6]
		35/119	・ ・ ・ ・ ・ 酸化ジルコニウムをもつもの[6]
		35/12	・ ・ 酸化クロムを基とするもの (C04B35/047, C04B35/105 が優先) [6]
		35/14	・ ・ シリカを基とするもの[6]
		35/16	・ ・ 粘土以外のけい酸塩を基とするもの[6]
		35/18	・ ・ ・ 酸化アルミニウムに富むもの[6]
		35/185	・ ・ ・ ・ ムライト[6]
		35/19	・ ・ ・ ・ アルカリ金属アルミノけい酸塩, 例. 黝輝石 (スボジュール) [6]
		35/195	・ ・ ・ ・ アルカリ土類金属アルミノけい酸塩, 例. 堇青石 (コージェライト) [6]
		35/20	・ ・ ・ 酸化マグネシウムに富むもの[6]
		35/22	・ ・ ・ 酸化カルシウムに富むもの[6]
		35/26	・ ・ フェライトを基とするもの[2, 6]
		35/28	・ ・ ・ 主酸化物として酸化ニッケルをもつもの[2, 6]
		35/30	・ ・ ・ ・ 酸化亜鉛をもつもの[2, 6]
		35/32	・ ・ ・ 主酸化物として酸化コバルトをもつもの[2, 6]
		35/34	・ ・ ・ ・ 酸化亜鉛をもつもの[2, 6]
		35/36	・ ・ ・ 主酸化物として酸化マンガンをもつもの[2, 6]
		35/38	・ ・ ・ ・ 酸化亜鉛をもつもの[2, 6]

注

(1) このグループにおいては, 相反する指示がない限り, 組成物は最も高い重量比を有する構成成分に従って分類される。

[3]

注

(2) このグループにおいては, マグネシウムはアルカリ土類金属とみなす。[6]

注

(3) このグループにおいては, 複合組成物は焼結助剤以外の種々の粉末物質の焼結混合物とみなし, それらの物質は焼結製品において分離した相として存在する。[6]

注

(4) このグループにおいては, ファインセラミックスは多結晶の微粒子ミクロ構造, 例. 100 μm 以下の寸法の, をもつ製品とみなす。[6]

注

(5) セラミック粉末の製造は, 特定の特徴をもつ粉末の製造に関する限り, このグループに分類する。[6]

35/01	・ 酸化物を基とするもの[6]
300	・ ・ 炭素を含有するもの (C04B35/103 が優先)
600	・ ・ 亜マンガ酸塩を基とするもの
35/03	・ ・ 酸化マグネシウム, 酸化カルシウムまたはドロマイトから誘導した混合酸化物を基とするもの[6]
35/035	・ ・ ・ 非酸化物耐火物質, 例. 炭素, を含有する粗粒サイズの混合物からの耐火物[6]
35/04	・ ・ ・ 酸化マグネシウムを基とするもの[6]
35/043	・ ・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物[6]
500	・ ・ ・ ・ ・ 酸化クロムまたはクロム鉱石以外の耐火性金属化合物を含有するもの
35/047	・ ・ ・ ・ ・ 酸化クロムまたはクロム鉱石を含有するもの[6]
300	・ ・ ・ ・ ・ 溶融粒から得たもの
600	・ ・ ・ ・ ・ 予備反応させた焼結粒子から得たもの, 例. 同時焼結

35/40	・ ・ ・ 希土類酸化物をもつもの[2, 6]	35/491	・ ・ ・ ・ ジルコニウム酸鉛およびチタン酸鉛を基とするもの[6]
35/42	・ ・ 亜クロム酸塩を基とするもの (C04B35/047, C04B35/105 が優先) [2, 6]	35/493	・ ・ ・ ・ 他の鉛化合物も含むもの[6]
35/44	・ ・ アルミン酸塩を基とするもの[2, 6]	35/495	・ ・ 酸化バナジウム, 酸化ニオブ, 酸化タンタル, 酸化モリブデンまたは酸化タングステンまたはそれらと他の酸化物との固溶体, 例. バナジウム酸塩, ニオブ酸塩, タンタル酸塩, モリブデン酸塩またはタングステン酸塩, を基とするもの[6]
35/443	・ ・ ・ アルミン酸マグネシウムスピネル[6]	35/497	・ ・ ・ 酸化鉛との固溶体を基とするもの[6]
35/447	・ ・ リン酸塩を基とするもの[6]	35/499	・ ・ ・ ・ チタン酸塩をもつもの[6]
35/45	・ ・ 酸化銅または酸化銅と他の酸化物の固溶体を基とするもの[6]	35/50	・ 希土類化合物を基とするもの
040	・ ・ ・ 希土類酸化物を含有するもの	35/505	・ ・ 酸化イットリウムを基とするもの[6]
120	・ ・ ・ 酸化タリウムを含有するもの	35/51	・ アクチニド系化合物を基とするもの[2]
170	・ ・ ・ ・ さらに酸化鉛も含有するもの	35/515	・ 非 酸 化 物 を 基 と す る も の (C04B35/50, C04B35/51 が優先) [6]
210	・ ・ ・ 酸化ビスマス含有するもの	35/52	・ ・ 炭素, 例. 黒鉛, を基とするもの[6]
250	・ ・ ・ ・ さらに酸化鉛も含有するもの	35/524	・ ・ ・ ポリマー前駆体, 例. ガラス状炭素物質, から得たもの[6]
35/453	・ ・ 酸化亜鉛, 酸化スズまたは酸化ビスマスまたはそれらと他の酸化物, 例. 亜鉛酸塩, スズ酸塩またはビスマス酸塩, の固溶体を基とするもの[6]	35/528	・ ・ ・ 他の非有機成分を有するまたは有しない炭素質粒子から得たもの[6]
35/457	・ ・ ・ 酸化スズまたはスズ酸塩を基とするもの[6]	35/532	・ ・ ・ ・ 炭化できる結合剤を含むもの[6]
35/46	・ ・ 酸化チタンまたはチタン酸塩を基とするもの (酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウム, ジルコニウム酸塩またはハフニウム酸塩を含むもの C04B35/49) [6]	35/536	・ ・ ・ 膨張黒鉛を基とするもの[6]
35/462	・ ・ ・ チタン酸塩を基とするもの[6]	35/547	・ ・ 硫化物またはセレン化合物を基とするもの[6]
35/465	・ ・ ・ ・ アルカリ土類金属のチタン酸塩を基とするもの[6]	35/553	・ ・ ふっ化物を基とするもの[6]
35/468	・ ・ ・ ・ ・ チタン酸バリウムを基とするもの[6]	35/56	・ ・ 炭化物を基とするもの[4]
200	・ ・ ・ ・ ・ BaTiO ₃ ペロブスカイト相を基とするもの	030	・ ・ ・ 明確に定義された酸素含有量, 例. オキシカーバイド
400	・ ・ ・ ・ ・ ・ 鉛化合物を含有するもの (C04B35/472 が優先)	070	・ ・ ・ 耐火性金属炭化物を基とするもの
600	・ ・ ・ ・ ・ BaTiO ₃ ペロブスカイト相以外の相を基とするもの	110	・ ・ ・ ・ 炭化チタンを基とするもの
800	・ ・ ・ ・ ・ ・ 鉛化合物を含有するもの (C04B35/472 が優先)	150	・ ・ ・ ・ ・ チタンシリコンカーバイドを基とするもの
35/47	・ ・ ・ ・ ・ チタン酸ストロンチウムを基とするもの[6]	180	・ ・ ・ ・ ・ チタンアルミニウムカーバイドを基とするもの
35/472	・ ・ ・ ・ チタン酸鉛を基とするもの[6]	220	・ ・ ・ ・ 炭化ジルコニウムまたは炭化ハフニウムを基とするもの
35/475	・ ・ ・ ・ チタン酸ビスマスを基とするもの[6]	260	・ ・ ・ ・ 炭化タングステンを基とするもの
35/478	・ ・ ・ ・ チタン酸アルミニウムを基とするもの[6]	35/563	・ ・ ・ 炭化ほう素を基とするもの[6]
35/48	・ ・ 酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウムまたはジルコニウム酸塩またはハフニウム酸塩を基とするもの[6]	35/565	・ ・ ・ 炭化けい素を基とするもの[6]
35/482	・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物[6]	35/567	・ ・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物[6]
35/484	・ ・ ・ 溶融鋳造による耐火物[6]	35/569	・ ・ ・ ・ ・ ファインセラミックス[6]
35/486	・ ・ ・ ファインセラミックス[6]	35/571	・ ・ ・ ・ ・ ポリマー前駆体から得たもの[6]
35/488	・ ・ ・ ・ 複合組成物[6]	35/573	・ ・ ・ ・ ・ 反応焼結により得たもの[6]
500	・ ・ ・ ・ ・ 酸化アルミニウムとの	35/575	・ ・ ・ ・ ・ 加圧焼結により得たもの[6]
35/49	・ ・ ・ 酸化チタンまたはチタン酸塩を含むもの[3, 6]	500	・ ・ ・ ・ ・ ・ ガス圧焼結により得たもの
		35/576	・ ・ ・ ・ ・ 無加圧焼結により得たもの[6]
		35/577	・ ・ ・ ・ ・ 複合組成物[6]
		35/58	・ ・ ほう化物, 窒化物またはけい化物を基とするもの[4, 6]
		007	・ ・ ・ 耐火性金属窒化物を基とするもの
		014	・ ・ ・ ・ 窒化チタンを基とするもの

021	・ ・ ・ ・ ・炭窒化チタンを基とするもの	150	・ ・ ・ ・ ・高エネルギーまたは反応性ボール製粉
028	・ ・ ・ ・ ・窒化ジルコニウムまたは窒化ハフニウムを基とするもの	200	・ ・ ・ ・ ・仮焼;焼結した原料, セラミックスの製粉
035	・ ・ ・ ・ ・炭窒化ジルコニウムまたは炭窒化ハフニウムを基とするもの	250	・ ・ ・ ・ ・湿潤混合物
042	・ ・ ・ 鉄族金属窒化物を基とするもの	300	・ ・ ・ ・ ・その固形物重量により特徴付けられるもの, すなわち, 固形体の割合
050	・ ・ ・ ほう化物を基とするもの	350	・ ・ ・ ・ ・混合の詳細
057	・ ・ ・ ・ ・ほう化マグネシウムを基とするもの, 例. MgB ₂	400	・ ・ ・ ・ ・混合媒体, 例. 有機溶媒
064	・ ・ ・ ・ ・ほう化耐火物を基とするもの	450	・ ・ ・ ・ ・粉体またはその混合物の焼結以外の熱処理
071	・ ・ ・ ・ ・ほう化チタンを基とするもの	500	・ ・ ・ ・ ・還元または酸化が関連するもの
078	・ ・ ・ ・ ・ほう化ジルコニウムまたはほう化ハフニウムを基とするもの	550	・ ・ ・ ・ ・乾燥法, 例. 凍結乾燥, 噴霧乾燥, 高周波乾燥または超臨界乾燥
085	・ ・ ・ けい化物を基とするもの	600	・ ・ ・ ・ ・湿度を調節した乾燥
092	・ ・ ・ ・ 耐火金属けい化物を基とするもの	650	・ ・ ・ ・ ・フレイム, プラズマまたは熔融処理
35/581	・ ・ ・ 窒化アルミニウムを基とするもの[6]	700	・ ・ ・ ・ ・熱分解, 分解蒸留または自動燃焼反応
35/582	・ ・ ・ ・ 複合組成物[6]	750	・ ・ ・ ・ ・処理温度により特徴付けられるもの
35/583	・ ・ ・ 窒化ほう素を基とするもの[6]	800	・ ・ ・ ・ ・加えられた圧力または大気の種類により特徴づけられるもの, 例. 真空内で, 水素内でまたは特定の酸素圧の中で
35/5831	・ ・ ・ ・ 立方晶窒化ほう素を基とするもの[6]	850	・ ・ ・ ・ 成分または添加物を追加する順番により特徴付けられるもの
35/5833	・ ・ ・ ・ 六方晶窒化ほう素を基とするもの[6]	900	・ ・ ・ ・ 混合物の硬化
35/5835	・ ・ ・ ・ 複合組成物[6]	950	・ ・ ・ ・ 粒状化または造粒
35/584	・ ・ ・ 窒化けい素を基とするもの[6]	35/628	・ ・ ・ 粉末を被覆するもの[6]
35/586	・ ・ ・ ・ 粗粒サイズの混合物からの耐火物[6]	020	・ ・ ・ ・ 粉状被覆材料
35/587	・ ・ ・ ・ ファインセラミックス[6]	050	・ ・ ・ ・ ・酸化物セラミック
35/589	・ ・ ・ ・ ・ポリマー前駆体から得たもの[6]	070	・ ・ ・ ・ ・けい土またはけい酸塩
35/591	・ ・ ・ ・ ・反応焼結により得たもの[6]	100	・ ・ ・ ・ ・アルカリ土類金属酸化物
35/593	・ ・ ・ ・ ・加圧焼結により得たもの(C04B35/594が優先)[6]	130	・ ・ ・ ・ ・アルミナまたはアルミン酸塩
500	・ ・ ・ ・ ・ガス圧焼結により得たもの	150	・ ・ ・ ・ ・希土類金属酸化物
35/594	・ ・ ・ ・ ・反応焼結製品の加圧または無加圧焼結により得たもの[6]	180	・ ・ ・ ・ ・耐火金属酸化物
35/596	・ ・ ・ ・ ・複合組成物[6]	210	・ ・ ・ ・ ・酸化チタン
35/597	・ ・ ・ 酸窒化けい素を基とするもの[6]	230	・ ・ ・ ・ ・酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウム
35/599	・ ・ ・ ・ けい素アルミニウム酸窒化物[サイアロン]を基とするもの[2006. 01]	260	・ ・ ・ ・ ・鉄属金属酸化物
35/622	・ 製造方法;セラミック製品を製造するための無機化合物粉末の処理方法[6]	280	・ ・ ・ ・ ・非酸化物セラミック
040	・ ・ 廃棄物または塵芥を使うもの(廃棄物を含有する陶器 C04B33/132)	310	・ ・ ・ ・ ・炭化物
090	・ ・ ・ セラミック製品の中に残っている木質材料を使用(多孔製品を取得するために燃焼 C04B38/06)	340	・ ・ ・ ・ ・炭化けい素
130	・ ・ ・ 米素材の使用, 例. ふすままたは殻もしくははさや	360	・ ・ ・ ・ ・窒化物
35/624	・ ・ ゴルーゲル法[6]	390	・ ・ ・ ・ ・炭素
35/626	・ ・ 個々のまたは一括しての粉末の製造または処理[6]	420	・ ・ ・ ・ ・金属
050	・ ・ ・ 出発粉末を個別にまたは混合物として処理	440	・ ・ ・ ・ 被覆繊維
100	・ ・ ・ ・ 製粉	470	・ ・ ・ ・ ・酸化物セラミックを用いて
		490	・ ・ ・ ・ ・けい土またはけい酸塩
		520	・ ・ ・ ・ ・アルミナまたはアルミン酸塩
		550	・ ・ ・ ・ ・耐火金属酸化物
		570	・ ・ ・ ・ ・非酸化物セラミックを用いて
		600	・ ・ ・ ・ ・炭化物

630	炭化けい素
650	窒化物
680	窒化ほう素
710	窒化けい素
730	炭素
760	金属を用いて
780	ほう素またはけい素を用いて
810	金属塩, 例. リン酸塩, を用いて
840	気相技術による
860	湿式化学技術による
890	不連続被覆層を用いて
920	粒子からなる被覆層を用いて
940	2 以上の被覆層を用いて
970	厚さにより特徴付けられる被覆
35/63	特に製品の製造に適合する添加剤を用いるもの[6]
030	無機添加物
060	リン酸またはリン酸塩を基とする結合剤
090	リン酸アルミニウム
130	アルカリ金属リン酸塩またアルカリ土類金属リン酸塩
160	シリコン化合物を基とする結合剤
35/632	有機添加剤[6]
500	有機金属化合物を基とするもの
35/634	ポリマー (C04B35/636 が優先) [6]
040	炭素-炭素不飽和結合のみを含む反応により得たもの
080	ポリアルケン
120	クマロン重合体
160	ポリビニルアルコール[PVA]; ポリビニルアセテート
200	ポリビニルアセタール, 例. ポリビニルブチラール[PVB]
240	ポリアクリレート; ポリメタクリレート
280	エチレン性不飽和ジカルボン酸無水物重合体, 例. 無水マレイン酸物共重合体
320	ポリスチレン
360	ハロゲン含有重合体, 例. ポリ塩化ビニル
400	少なくとも異なった三種のモノマーを含有する共重合体
440	窒素を含有する重合体, 例. ポリアクリルアミド, ポリアクリロニトリルまたはポリビニルピロリドン[PVP]
480	炭素-炭素不飽和結合のみが関連する反応以外により得たもの
520	ポリエポキシド
560	ポリウレタン; ポリイソシア

	ネート
600	・ ・ ・ ・ ・ ポリエステル
640	・ ・ ・ ・ ・ ポリカーボネート
680	・ ・ ・ ・ ・ ポリアミド
720	・ ・ ・ ・ ・ アルデヒドまたはケトンの縮重合体
760	・ ・ ・ ・ ・ フェノール-ホルムアルデヒド縮重合体
800	・ ・ ・ ・ ・ メラミン-ホルムアルデヒド縮重合体
840	・ ・ ・ ・ ・ 尿素-ホルムアルデヒド縮重合体
880	・ ・ ・ ・ ・ ポリエーテル, 例. アルキルフェノールポリグリコールエーテル, ポリエチレングリコール[PEG], またはポリエチレンオキシド[PEO]
920	・ ・ ・ ・ ・ 天然樹脂, 例. ロジン
960	・ ・ ・ ・ ・ 瀝青物, 例. タールまたはピッチ
35/636	・ ・ ・ ・ ・ 多糖類またはその誘導体[6]
500	・ ・ ・ ・ ・ セルロースまたはその誘導体
35/638	・ ・ ・ ・ ・ その除去[6]
35/64	・ ・ 焼成または焼結方法 (C04B33/32 が優先) [6]
35/645	・ ・ ・ 加圧焼結[6]
500	・ ・ ・ 熱間静水圧プレス
35/65	・ ・ ・ 遊離金属または遊離けい素を含む組成物の反応焼結[3]
100	・ ・ ・ テルミットタイプの焼結, 例. 燃焼焼結
200	・ ・ ・ 指向的酸化または凝固, 例. ランキサイド法
35/653	・ ・ 溶融段階を伴う方法[6]
35/657	・ ・ ・ 耐火物製造用 (C04B35/05, C04B35/107, C04B35/484 が優先) [6]
35/66	・ モノリシックな耐火物または耐火モルタルであって, 粘土を含み, または含まぬものの

注

・35/66 に分類される, 水硬セメント, 例. アルミナセメント, を含んだ耐火モルタル組成物の構成成分であって, 検索に重要な情報であると思われるものは, グループ 7/00 から 24/00 において最後の適切な箇所に分類することができる。これは, 例えば分類記号の組合わせを用いて組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は, “付加情報” として表示すべきである。例えば, こうした 24/00 への付加分類は, モルタル組成物に添加された有機凝固遅延剤に対し行うことができる。[8]

35/71	巨視的な強化用物質を含むセラミック製品 (C04B35/66 が優先) [3, 4]
35/74	成形された金属材料を含むもの[2]
35/76	繊維, フィラメント, ウィスカー, 小板

- 状態または類似物[2]
- 35/78 ・ ・ 非金属材料を含有するもの[2]
- 35/80 ・ ・ ・ 繊維, フィラメント, ウィスカー, 小板
状態または類似物[2]
- 300 ・ ・ ・ ・ 酸化物のみからなるセラミック製
品のマトリックス
- 600 ・ ・ ・ ・ 非酸化物のみからなるセラミック
製品のマトリックス
- 35/81 ・ ・ ・ ・ ウィスカー[6]
- 35/82 ・ ・ ・ ・ アスベスト; ガラス; 溶融シリカ[2]
- 35/83 ・ ・ ・ ・ 炭素基質の炭素繊維[6]

注

・ ・ ・ ・ このグループに包含される製品は通常“炭素-炭素コンポジット”と呼ばれる。[6]

- 35/84 ・ ・ ・ 含浸されたまたは被覆された材料[2]
- 37/00 焼成セラミック物品と他の焼成セラミック
物品または他の物品との加熱による接合
- A 接合剤の組成に特徴を有するもの
- B ・ 金属を含むもの
- C 直接融着によるもの
- Z その他のもの
- 37/02 ・ 金属物品との
- A 接合剤の組成に特徴を有するもの
- B ・ 金属を含むもの
- C 直接融着によるもの
- Z その他のもの
- 37/04 ・ ガラスから作られた物品との

-
- 38/00 多孔質化モルタル, コンクリート, 人造石又
はセラミックス製品; その製造(ガスまた
はガス生成物質によるスラグの処理
C04B5/06) [4, 6]
- 301 ・ 多孔質人造石
- 301 A形状または構造に特徴があるもの
- 301 B発泡性鉱物を原料とするもの
- 301 C無機繊維板
- 301 D有機繊維板
- 301 Zその他
- 302 ・ 多孔質人造石の製造
- 302 A吸着ガスの放出, 液体の蒸発または固体の
昇華による多孔化
- 302 B発泡合成樹脂ビーズを溶融あるいは収縮さ
せるもの
- 302 C骨材間に空隙を形成するもの, スポンジ等
に含浸させるもの
- 302 D炭酸ガスで硬化するもの
- 302 E防水処理
- 302 Zその他
- 303 ・ 多孔質セラミック製品
- 303 Aセラミック繊維板
- 303 Zその他

- 304 ・ 多孔質セラミック製品の製造
- 304 A網状フォームに泥漿を付着させるもの
- 304 B吸着ガスの放出または液体の蒸発によるも
の
- 304 Zその他

注

成分または組成物に特徴のある多孔質のモルタル, コンクリート, 人造石またはセラミック製品はグループ 2/00 から 35/00 にも分類する。[4]

- 38/02 ・ 化学的発泡剤の添加によるもの[4]
- A 多孔質人造石
- B ・ 化学的発泡剤+樹脂
- C ・ 水ガラス
- D ・ 炭酸塩等
- E ・ 金属粉末
- F ・ ・ 金属粉末+樹脂
- G ・ 過酸化物
- H ・ 有機物
- J ・ ・ イソシアナート系
- K セラミック製品
- L ・ 水ガラス
- M ・ 炭酸塩等
- N ・ 金属粉末
- P ・ 炭素
- Z その他
- 38/04 ・ 添加物質の溶出によるもの[4]
- A 多孔質人造石
- B セラミック製品
- Z その他
- 38/06 ・ 添加物質の焼失によるもの[4]
- A 多孔質人造石
- B セラミック製品
- C ・ 粘土
- D ・ 酸化物
- E ・ 窒化物, ほう化物, 炭化物またはケイ化物
- F ・ 炭素
- G ・ 焼成前の処理に特徴があるもの
- H ・ 発泡剤の使用
- J ・ 焼成前の成型に特徴があるもの
- Z その他
- 38/08 ・ 多孔質物質の添加によるもの[4]
- A 多孔質人造石
- B ・ 無機多孔質
- C ・ 有機多孔質
- D セラミック製品
- Z その他
- 38/10 ・ 起泡剤の使用によるもの (C04B38/02 が
優先) [4]
- A 多孔質人造石
- B ・ 起泡剤+泡安定剤
- C ・ 起泡剤+水ガラス
- D ・ 起泡剤+多孔質
- E ・ 起泡剤+補強繊維

C 0 4 B

F	・ 起泡剤＋樹脂
G	・ 起泡装置または方法
H	・ ・ 攪拌によるもの
J	・ ・ 吹き込みによるもの
K	・ ・ 減圧によるもの
L	セラミック製品
Z	その他
40/00	モルタル組成物, コンクリート組成物または人造石組成物の性質, 例. 凝結もしくは硬化性, に影響を与えるかそれを変化させるためのプロセス一般 (活性成分の選択によるもの C04B22/00-C04B24/00; 明確に規定された組成物の硬化 C04B26/00-C04B28/00; 多孔質, 細胞状または軽量化するもの C04B38/00) [4, 6]
40/02	・ 硬化環境の選択 [4]
40/04	・ 混合水の蒸発防止 (永久的な被覆 C04B41/00) [4]
40/06	・ 凝結抑制, 例. 破壊可能容器中に水を含有する遅硬化型モルタル [4]
41/00	モルタル, コンクリート, 人造石またはセラミックスの後処理; 天然石の処理 (冷間うわ薬以外のうわ薬 C03C8/00) [3]

注

(1) このグループにおいて, 下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる: [6]

注

— “モルタル”, “コンクリート” および “人造石” は最初の成形後の材料を包含する。[6]

注

(2) ある材料をこれと同じ材料で処理することまたは後でこれと同じ材料に変化する物質で処理すること, 例. 被覆または含浸, はこのグループでいう後処理とは考えないで, 材料の調製として分類する, 例. 炭化可能な物質によって含浸された炭素体は 35/52 に分類する。

注

(3) グループ C04B41/45-C04B41/80 においては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り, 最後の適切な箇所に分類する。[4]

41/45	・ 被覆または含浸 [4]
41/46	・ ・ 有機物によるもの [4]
41/47	・ ・ ・ 油, 脂肪またはろう [4]
41/48	・ ・ ・ 高分子化合物 [4]
41/49	・ ・ ・ 炭素—金属または炭素—けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]
41/50	・ ・ 無機物によるもの [4]
41/51	・ ・ ・ 金属化 [4]
41/52	・ ・ 多段被覆または含浸 [4]
41/53	・ 処理した物品からの材料の一部の除去を含む [4]
41/60	・ 人造石のみの [4]
41/61	・ ・ 被覆または含浸 [4]
41/62	・ ・ ・ 有機物によるもの [4]

41/63	・ ・ ・ 高分子化合物 [4]
41/64	・ ・ ・ 炭素—金属または炭素—けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]
41/65	・ ・ ・ 無機物によるもの [4]
41/66	・ ・ ・ ・ ふっ化物, 例. オクラテーション [4]
41/67	・ ・ ・ ・ りん酸塩 [4]
41/68	・ ・ ・ ・ けい酸; けい酸塩 [4]
41/69	・ ・ ・ ・ 金属 [4]
41/70	・ ・ ・ 異なった組成を有する少なくとも 2 つの積層された被覆を得るためのもの [4]
41/71	・ ・ ・ 被覆の少なくとも 1 つは有機物であるもの [4]
41/72	・ ・ 処理した物品からの材料の一部の除去を含むもの, 例. エッチング [4]
41/80	・ セラミックスのみの [4]
A	加熱処理; 表面溶融
B	拡散浸透; イオン注入処理
Z	その他
41/81	・ ・ 被覆または含浸 [4]
A	含浸方法または装置
Z	その他
41/82	・ ・ ・ 有機物によるもの [4]
A	被覆
B	含浸
C	・ 炭素材への含浸
D	・ 耐火物への含浸
Z	その他
41/83	・ ・ ・ 高分子化合物 [4]
A	被覆
B	・ 焼成タイル表面の被覆
C	・ 耐火物表面の被覆
D	含浸
E	・ 炭素材への含浸
F	・ 耐火物への含浸
G	・ 非酸化物焼結体への含浸
Z	その他
41/84	・ ・ ・ 炭素—金属または炭素—けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]
A	被覆
B	含浸
Z	その他
41/85	・ ・ ・ 無機物によるもの [4]
A	焼結体への無機物含浸処理
B	・ 含浸後さらに後処理するもの
C	多孔質焼結体への無機物被覆・含浸処理
D	・ 触媒担体
E	・ 耐火物への無機物含浸処理
F	・ 炭素物への無機物含浸処理
G	・ 炭素質電極または耐火物
H	非酸化物焼結体への無機物含浸処理
J	陶磁器の無機物被覆による模様付け
Z	その他

41/86	・ ・ ・ ・ うわ薬;冷間うわ薬[4]	G	・ 無電解メッキのための前処理
A	釉薬	H	・ ・ 活性化剤
B	・ 顔料に特徴があるもの	J	焼結体表面の蒸着による金属被覆
C	施釉紙	K	焼結体表面の溶射による金属被覆
D	施釉方法	L	焼結体表面の還元メタライズ法
E	施釉前処理法	M	絶縁基板表面の金属化
F	施釉後処理法	N	・ スルーホールを有するもの
G	転写による絵付法	P	・ パターン形成手段に特徴があるもの
H	・ 転写紙	Q	非酸化物焼結体表面の金属被覆
J	釉薬層の固着方法または装置	R	炭素またはダイヤモンド表面の金属被覆
K	施釉装置または補助具	S	多孔質焼結体表面の金属被覆
L	・ 吹付または撒布によるもの	T	耐火物表面の金属被覆
M	・ 浸漬によるもの	U	焼結体への金属含浸
N	・ 塗布, スタンプ, 印刷またはロール掛けによるもの	V	・ 炭素材への金属含浸
P	・ 釉薬不要部分の除去装置	Z	その他
Q	・ 瓦への施釉装置	41/89	・ ・ ・ 異なった組成を有する少なくとも 2 つの積層された被覆を得るためのもの [4]
R	施釉製品	A	多層被覆方法
S	耐火物または炭素材表面のガラス質被覆	B	有機物による多層被覆
T	電気材料表面のガラス質被覆	C	陶磁器表面に粉末, 粒状物, 繊維状物を樹脂, ガラス, その他で固着したもの
U	・ グレーズ基板	D	陶磁器表面の装飾のための多層被覆
Z	その他	E	・ 下絵付後施釉
41/87	・ ・ ・ ・ セラミックス[4]	F	・ ・ 釉が透明または半透明なもの
A	焼結体表面の無機物被覆方法	G	・ 下絵付後樹脂被覆
B	・ 絶縁基板表面の無機物被覆	H	・ 施釉後上絵付
C	・ 焼結体表面の導電性無機物被覆	J	多層被覆した硬質材料, 例. 工具
D	焼結体表面での酸化物以外の無機質被膜形成法	K	多層被覆した炭素材, 炭化珪素材及び耐火物
E	蒸熱による無機物被覆	Z	その他
F	・ PVD によるもの	41/90	・ ・ ・ ・ 被覆の少なくとも 1 つは金属であるもの [4]
G	・ CVD によるもの	A	焼結体表面の多層金属被覆
H	熱分解炭素またはダイヤモンドによる被覆	B	焼結体表面に金属被膜形成後無機物被覆
J	溶射による無機物被覆	C	焼結体表面に無機質被膜形成後金属被覆
K	・ 溶射材料	D	金属被覆層を有する装飾陶磁器
L	赤外線放射材料による被覆	Z	その他
M	非酸化物焼結体表面の無機物被覆処理	41/91	・ ・ 処理した物品からの材料の一部の除去を含むもの, 例. エッチング [4]
N	硬質材料, 例. 工具材, の無機物被覆	A	電解エッチング
P	耐火物表面の無機物被覆処理	B	化学エッチング
Q	・ 酸化防止のための処理	C	エッチングの際のマスキング
R	・ 無機質被覆材	D	サンドブラストによる除去
S	炭素材表面の無機物被覆処理	E	レーザー・プラズマジェットによる除去
T	・ 炭素質耐火物または電極表面の被覆処理	Z	その他
U	・ 無機質被覆材		
V	・ SiC 被覆		
W	装飾のための無機物被覆		
Z	その他		
41/88	・ ・ ・ ・ 金属[4]		
A	金属被覆焼結体		
B	焼結体のメタライズ用組成物		
C	・ 導電層形成のためのもの		
D	・ 装飾のためのもの		
E	焼結体表面の電気メッキ		
F	焼結体表面の無電解メッキ		
		103:00	活性成分の機能または特性[6]
		103:10	・ 促進剤[6]

活性成分の機能または特性に関し, グループ 22/00 および 24/00 と関連するインデキシング系列[6]

C O 4 B

- 103:12 ・ ・凝結促進剤[6]
- 103:14 ・ ・硬化促進剤[6]
- 103:20 ・遅延剤[6]
- 103:22 ・ ・凝結遅延剤[6]
- 103:24 ・ ・硬化遅延剤[6]
- 103:30 ・減水剤, 流動化剤, AE 剤[6]
- 103:32 ・ ・高性能流動化剤 (高性能減水剤) [6]
- 103:40 ・界面活性剤;分散剤[6]
- 103:42 ・孔形成剤[6]
- 103:44 ・濃度増加剤, ゲル増加剤または粘度増加剤[6]
- 103:46 ・水損失減少剤, 吸湿剤または親水化剤[6]
- 103:48 ・泡安定剤[6]
- 103:50 ・消泡剤;脱泡剤[6]
- 103:52 ・粉砕助剤[6]
- 103:54 ・顔料;染料[6]
- 103:56 ・乳濁剤[6]
- 103:60 ・化学的, 物理的または生物学的破壊作用に対する保護剤[6]
- 103:61 ・ ・防錆剤[6]
- 103:63 ・ ・防炎剤[6]
- 103:65 ・ ・防水剤または撥水剤[6]
- 103:67 ・ ・殺生物剤[6]
- 103:69 ・ ・ ・殺菌剤[6]
- 111:50 ・柔軟性または伸縮性材料[6]
- 111:52 ・防音材料[6]
- 111:54 ・自然石の代用品, 例. 人造大理石[6]
- 111:56 ・管の構成に適した組成物, 例. 遠心鑄造によるもの[6]
- 111:60 ・床材料[6]
- 111:62 ・ ・セルフレベルリング組成物[6]
- 111:70 ・グラウト[6]
- 111:72 ・既存の建築物または建築材料の修理に用いられる組成物[6]
- 111:74 ・水中における適用[6]
- 111:76 ・氷点下温度における使用[6]
- 111:80 ・光学的特性, 例. 透明[6]
- 111:82 ・ ・着色した材料[6]
- 111:90 ・電気的特性[6]
- 111:92 ・ ・電気絶縁材料[6]
- 111:94 ・ ・導電材料[6]

モルタル, コンクリートまたは人造石の機能, 特性 または使用に関し, グループ 26/00-32/00 と関連した インデキシング系列[6]

- 111:00 モルタル, コンクリートまたは人造石の機能, 特性または使用[6]
- 111:10 ・特定の物質が含まれていないことに特徴のある組成物[6]
- 111:12 ・ ・アスベストの不在, 例. セメントーアスベスト代用物[6]
- 111:20 ・化学的, 物理的または生物学的破壊作用の阻止[6]
- 111:21 ・ ・耐エフロレッセンス[6]
- 111:22 ・ ・耐中性化[6]
- 111:23 ・ ・耐酸[6]
- 111:24 ・ ・耐海水[6]
- 111:25 ・ ・耐落書き[6]
- 111:26 ・ ・補強性腐食[6]
- 111:27 ・ ・耐水, すなわち防水または撥水材料[2006. 01]
- 111:28 ・ ・耐火[6]
- 111:30 ・釘付け可能な, またはのこぎりでひける材料[6]
- 111:32 ・膨張禁止材料[6]
- 111:34 ・防縮材料[6]
- 111:40 ・多孔性または軽量の材料[6]
- 111:42 ・ ・浮上材料[6]